

「音訳者」を知っていますか？

音訳者は地域の図書館で、視覚障害等の理由で活字による読書が困難な方のために、**対面で資料を読み上げたり**、資料中の**文章や図版を音声化した録音物を製作したり**しています。

西部図書館では、**新たに音訳者を目指す方**が基本的な音訳技術を習得できるよう、以下のとおり、**初心者向け**の講座を開催します。平成30年9月から1年半、全24回の連続講座です。皆さまのご参加をお待ちしています。

千葉県立西部図書館主催

図書館音訳者養成講座(初級)

概要

- 日 時 平成30年9月から平成32年2月まで(全24回)
※月に2回程度、土曜日の午前10時から正午まで
- 会 場 千葉県立西部図書館 2階研修室
- 対 象 新たに音訳者になろうとする方で、全24回の講座に通して参加でき、受講後に県立図書館や市町村立図書館の音訳者として長期に活動できる方
- 定 員 20名(申込多数の場合は選考)
- 申込み ①氏名、②電話番号、③説明会参加日(7月7日又は21日)を電話、FAX、郵送、E-mailのいずれかでご連絡ください。
- 締 切 平成30年6月30日(土)



説明会

- 〈第1回〉平成30年7月 7日(土) 午前10時から正午まで
- 〈第2回〉平成30年7月21日(土) 午前10時から正午まで
- ※受講を希望される方は、いずれか1回の説明会にご参加ください。



Book Review

～ちょっと気になる新刊図書～

「夢見る力 建築とアートを融合する」

郡裕美 著 王国社 2017年12月

ベルリン、ニューヨーク、ブラジルの古都サルバドールに香取市佐原…。本書は、世界各地を飛び回り活躍する建築家の著者が、国内外で手がけた作品や出逢った建築物について綴った1冊です。

副題にある「建築とアートの融合」とは、外見の格好良さやインテリアの装飾にこだわった建築をつくることではなく、住み手（鑑賞者）に新しい視点を与え続けるような建築をつくることであると著者はいいます。例えば、暗く狭い独房の床に小さな青空を映し出し、見る者に希望を感じさせる作品のように、受け手の感性を刺激し、空間認識を転換させるような建築作品が紹介されています。

本書を読んだ後は、駅やスーパーなど、あなたの見慣れた空間も、以前とは違う可能性を秘めた場所に感じられるかもしれません。

【請求記号 5204/185】



「音のチカラ 感じる、楽しむ、そして活かす」

岩宮眞一郎 著 コロナ社 2018年1月

本書では、私たちの音に対する感じ方や、効果的な音の使い方を、音響学（音響心理学）的研究の手法で解き明かしています。

第2章「製品音の快音化とその評価」では、家電製品のうるさを1～5の評価値で表しており、ドライヤーや掃除機、電動ミキサーには「3」（うるさい）を超える評価値が与えられています。興味深いのは、ドライヤーの音が改善された場合、消費者はいくらの上乗せ価格なら支払う意思があるのかという問いにも、数字ではっきりと答えが示されている点です。

普段の生活の中で気になる音について、学問的な観点からもっとよく知りたいという方のための入門書として、是非読んでいただきたい1冊です。

【請求記号 424/20】



和食が「ユネスコ無形文化遺産」になったが、食文化としては何番目に登録されたか。



【資料1】から【資料5】により、2013年に「和食；日本人の伝統的な食文化」と同時に登録された他の3件の食文化とともに5番目と回答しました。

【資料1】『現代用語の基礎知識 2016』（自由国民社 2016）

「和食」の小見出し（p935）に「食関連の無形文化遺産は『フランスの美食術』『地中海料理』『メキシコの伝統料理』『トルコのケシケキ（麦がゆ）』に続いて5件目。」との記述があります。

以下の【資料2】から【資料5】には、「5番目」と明記されてはいませんが、ユネスコ無形文化遺産に登録された食文化について記述されており、それぞれの登録年と件数から、「和食；日本人の伝統的な食文化」の登録が5番目とわかります。

【資料2】文化庁伝統文化課文化財国際協力室『和食；日本人の伝統的な食文化』のユネスコ無形文化遺産代表一覧表への記載について（『月刊文化財』（特集 無形文化遺産保護条約）608号 2014.5）p31-33

【資料3】『世界無形文化遺産データ・ブック 2015年版』（古田陽久著 シンクタンクせとうち総合研究機構 2015）

【資料1】【資料2】に記載されている食関連の無形文化遺産の名称と登録年を確認しました。

【資料4】「朝日新聞記事データベース 聞蔵2」（当館データベース席で利用可能）

「（ニュースのおさらい ジュニア向け）和食が無形遺産になったの？」（2014年1月11日 夕刊 夕刊 be 土曜3面）

【資料5】農林水産省食料産業局食文化・市場開拓課和食室「日本の食文化を未来にどうつなげるかーユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」」（『農業と経済』（特集 再考 日本の食文化：生産・生活・歴史）82巻7号 2016.6）p71-78

出典：http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000233119

千葉県立西部図書館では、レファレンスを通じてご提供した質問回答記録を他の方にも参考になるよう編集し、国立国会図書館レファレンス協同データベースへ登録しています。

今回は昨年度登録・改訂した25件の中から、3月に登録したばかりの最新事例を紹介しました。

千葉県立図書館では図書や雑誌のほかにも、新聞記事を検索できるデータベースもご利用になれます。ぜひご活用ください。（詳しくは職員までお尋ねください）



Library Information

～図書館からのお知らせ～



平成30年度行事予定をお知らせします。



《一般向けイベント・講座》

6月16日(土)

健康・医療情報講座



知っていますか適量飲酒 ～正しいお酒との付き合い方～

講師 船橋北病院 副院長 月間 秀樹氏

6月30日(土)・11月8日(木)

書庫見学・菜の花ライブラリー活用講座



普段は入れない書庫棟の見学と、菜の花ライブラリーの紹介を行います。

10月27日(土) サイエンス・カフェ

「チバニアンはどうすごいのか」

～地中海北岸(主にギリシャ)と市原市田淵の事例から～



1月 **障害者のための読書支援機器活用講座**

活字による読書が困難な方やその支援者の方に、体験を交えて様々な読書方法を紹介します。

編集後記

1面で掲載した、新たに音訳者を目指す方のための養成講座、西部図書館での開催は30年ぶりになります。1年半という長い期間になりますが、活字の読書に障害のある方のために、あなたの力を貸していただけませんか？数多くの方の応募をお待ちしています。

West Library 千葉県立西部図書館だより

発行日：平成30年6月7日

編集：千葉県立西部図書館

〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀 657-7

TEL047-385-4133

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

ISSN:0918-7383